

学校だより
第 25 号

報徳

R 2. 7. 17

校長 松下 公博

池田小ピンクシャツデー

〜いじめをゆるさないぞ!〜

6月はいじめ根絶月間」でした。池田小学校では、日々の生活指導や道徳の授業を通して、いじめのない温かい学校づくりをしています。今月の全校集会で次のような話をしました。

今日、先生はピンクのシャツを着てきました。どうですか似合っていますか？ピンク色は先生の好きな色です。ほんわかして、あつ

たかい感じがします。

他にも、Tシャツや靴下も持っています。ところで、毎年2月の最後の水曜日は「国際ピンクシャツデー」とされています。これは「いじめをなくそう」と呼びかけるキャンペーンです。いじめをなくすのに、なぜピンクのシャツかという点、こんな話があります。

今から13年前の2007年、カナダの学校でのことです。そ

こは制服のない学校ですが、ある朝一人の男子中学生がピンク色のシャツを着て登校しました。すると、「なんで男なのにそんな服を着ているんだ。」と、一部の生徒にからかわれて、打ったり蹴ったりされてしまいました。

その事を聞いた2人の上級生は、「こんなことでいじめが起きるなんて許せない。いじめなんて、もう、うんざりだ!」「俺たちの手でい

じめをなくそう!」と考えました。そして、その日のうちにピンク色のシャツをたくさん買いこんで、SNSを通じて「こないじめを許さない。明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」とみんなに呼びかけました。翌朝、ふたりが学校に行くと、ピンクのシャツの他にピンクのリストバンドやリボンなどの小物を身につけた生徒がぞくぞく登校してきました。数百人の生徒たちがピンクのシャツやピンク色のものを身につけ登校してきたことで、その日、学校中がピンク色に染まりました。いじめられた生徒は、その様子を見て、安心の表情を浮かべていたそうです。以来、その学校でいじめはなくなり

この話から、3つのことを学ぶことができます。まず一つめは、ピンク色の服を着ているということや「変だ」と言ったり、その人にひどいことを言ったり、暴力をふるったりして、傷つけたことです。好きな色や物は一人ひとり違います。自分の見方だけで、それはこうだと決めつけた見方をすることを「偏見」と言います。物事を偏見で見ないようにしましょう。2つめは、2人の上級生が「いじめは許さない。自分たちの手でやめさせよう」と考えて、自分たちにできることをやったことです。いじめがいけないことは分かっていますが、やめさせるために行動するのは勇気のあることです。3つめは、学校中のみんなが、いじめに対して、知

らないふりをせずに行動したことです。いじめは、その人たちだけの問題ではありません。みんなでないじめをなくしましょう。

今日は、池田小の「ピンクシャツデー」です。先生方にもピンクのシャツやリボンを身につけてもらっています。これは、「池田小学校の子どもたちにはいじめをさせない、もし、いじめられている人がいたら絶対に守る」という先生たちの強い気持ちを表しています。もし、なにか気になることがあったらいつでも先生たちに相談してください。

みなさんも、今日が心の中にピンクシャツを着て、「いじめを絶対に許さない」という思いをしっかりともって過ごしてください。

今日、先生はピンクのシャツを着てきました。どうですか似合っていますか？ピンク色は先生の好きな色です。ほんわかして、あつ